

【パターン4】 講義+政策アイデア出しグループワーク+発表（2日間、90分+60分）

- ワークの目的：地域課題の自分事化+行政等が取り組むことのアイディア出し（課題解決に向けた社会全体の取組検討）
- 2日間に分けて授業時間をとれる場合や、複数グループで活動できる教室（会議室）向け
例：高校における探究活動の一環、大学におけるゼミ活動の一環

第1回

①県職員による講義 (30分)



(R7実施 長崎県立大学)

- 本県の現状（人口推移等）、総合計画、県の主な取組等について説明

②県職員との意見交換 (60分)



(R6実施
活水女子大学)



(R6実施 島原中央高校)

- 総合計画の記載内容を自分事として考える場とする
- 県職員を交えてグループワークを行い、ワークショップ形式で意見を出し合う
※4~5人×5~6グループを想定
- ワークの最後に、皆で取り組んでいくこと（行政等に取り組んでほしいこと）について話し合う

第2回

③グループワーク続き +アイデア出し（60分）



(R6実施 活水女子大学)

- ②のグループワークの続きからスタート（県職員なし）
- ワークの最後に、各班から皆で取り組んでいくこと（行政等に取り組んでほしいこと）と、自分にできることを発表